

「2023年度韓国・延世大学スプリングスクール派遣報告書」

京都大学文学部1年 松田 太一

①一番はリスニング能力の向上を実感しました。最低でも語学堂で一日4時間韓国語を聞いているので、リスニングは鍛えられます。具体的にいうと、相手の話すスピードについていけるみたいな感覚です。スピーキングに関しては、本当に人によります。クラスの日本人で馴れ合ったら伸びません。3週間しかないんですから。韓国人や自分より韓国語が上手い留学生と韓国語で話せる機会を貪欲に探し続けることが一番大切です。個人的に感じたのは、間違っても全然伝わることです。文法、活用もちろん大切ですが本当に大切なのは、相手と話したい気持ちだと実感しました。言語学習ってそんな崇高なものじゃないかも、と感じられた良い3週間でした。

②韓国の良いところ悪いところを知ると同時に日本の素晴らしさも見ることができました。やっぱり韓国の公共交通機関は素晴らしいですよ。値段も本当に安くてそれぞれの観光地から徒歩圏内に必ず地下鉄駅があります。人も優しいです。定食屋のおばあちゃんが美味しそうな卵パンを食べているの凝視していたら、親切にも分けていただきました。悪いところは…自分で見てきてください。日本の良いところも自ずと見えてくるはずですよ。

③事前学習では先生とも連絡先を交換して、実際に韓国で観光地を案内していただきました。韓国語だけではなく、そういうコネクションも得ることができて貴重な体験でした。延世大学のプログラム自体はクラスごとに異なりますが、内容自体は難しくありません。ただスピーキング能力は、クラス内で外国人の友人を作るのに影響してきます。事前にある程度話せるようになると交流の範囲が広がるでしょう。

④進路への影響と言われても、進路が未定なので何も変化はありません。ただ世界を支配しているのはアメリカなんだと強く認識させられました。誰と話すんでも英語。他のアジア人は本当に英語がうまかったです。あまりにひどい日本人の言語運用能力を見た中国人に、日本の英語教育について尋ねられたくらいです。韓国語能力試験が終わったら絶対英語勉強します。結構悔しかったですね、個人的に。

⑤ 육개월 동안 한국어를 공부했는데 한국의 문화나 한국사람들의 좋은 점을 실감했어요. 앞으로도 이번 유학으로 만든 친구들과 계속 교류하고 싶어요.

⑥私は現代史学科志望なので、非常に楽しく聞けました。資本主義の不幸についての部分が非常に興味深かった。ハンガンの奇跡などの韓国における経済成長、日本の戦前の維新、西欧の産業革命。全てが安価な労働力を前提としている。安価で無個性なだけに代替可能である。日本史では女工問題の中で顕著に見られる観点である。日本では工場法などでその権利の保障が始まって、戦後には労働基準法等が生まれた。もうそのような話は過去の遺物のように考えていたが、今でもそれは続いている、というような内容だった。具体例としてはK POPアイドルであった。一部の成功したグループを除けば、多くが代替可能である。この多くの不幸を必要とする資本主義。このことは国単位でも起きていることにも気づけた。(ここからは自分の考え)多くの先進国がネクスト中国を、ネクストベトナムを、ネクストバングラデシュを探している。そういう犠牲を押し付け続けることでしか成立し得ない。悲しい経済システムだな～、としみじみ感じていた。貴重な講義だった。